

子どもたちが  
本に“出会う”場所



普段は入れない  
閉架書庫

本は届きやすい場所に  
棚は全体的に低め



多い時は  
1日約2000冊以上の  
貸し出し



大人向けの本も  
充実

地域の“知”の拠点  
西合志図書館



西合志図書館天文台

西合志図書館



ヴィーブル図書館



泉ヶ丘市民センター図書館

10月27日～  
11月9日は  
読書週間



—特集—

“読書の秋”に行ってみよう  
市立図書館

本市には、本館である西合志図書館、分館であるヴィーブル図書館、泉ヶ丘市民センター図書館の3つの図書館があります。まもなく『読書週間』。本市の図書館について紹介します。

自分が利用者なら  
こうして欲しいと  
いつも考えています



たかもと こういち  
高本 孝一 館長

合志市立図書館は、人口に対して蔵書数が多いのが特徴です。本館である西合志図書館はさまざまな種類の本を揃えています。ヴィーブル図書館や泉ヶ丘市民センター図書館は時代小説や児童書を充実させています。それらは、出版社などのお薦めの本もありますが、司書が直接書店に行って「こんな本を入れたい」「こんな本なら読んでもらえるのではないかと考え、選書しています。市民の幅広いニーズに対応している中、本市は子育て世帯が増えています。そこで、西合志図書館に『子育て支援コーナー』を設け、

離乳食の作り方や、子どもとのコミュニケーションの取り方など、子育ての参考になる本も揃えています。また、西合志図書館には天文台があるのも大きな特徴です。家族で楽しんでもらえる観望会も定期的に開いています。館長として、『皆が使いやすい図書館』を目指しています。これは、職員だけでなく、利用者の皆さんの意見も参考にしながら実現していくものです。本市に引っ越して来て、「まだ利用したことがない」という人にも、ぜひ気軽に来てほしいと思っています。



天文台があります



おはなしのへや



集会室



借りたい本はカウンターへ



西合志図書館は蔵書約21万冊



本を除菌する装置



分類も分かりやすく表示

蔵書が検索できます



セルフ貸出機